

夏休みももうすぐ終わり ～9月15日登校日、10月1日より授業開始～



新小学4年生は少し緊張気味。



先生の話聞く時は真剣。



友だちと仲良くおしゃべり。

皆さんこんにちは。7月末より（中学生は7月1日から）始まった長い長い夏休みですが、15日には登校日がありました。登校日には、日本と同じように学校の清掃をします。今回はそんな登校日の様子をご紹介します。

登校日の子どもたちの様子

夏休みの間は少しの朝寝が許された子どもたちも、登校日になると、朝5時に起きて清掃、国旗掲揚と、普段の暮らしに戻ります。

さて、久しぶりの学校に向かう子どもたちの顔はどれも楽しそうでした。それもそのはず、久しぶりに学校の友だちに会える！と前日から楽しそうに話していました。

その日の朝、一番気がかりなのは、学校が変わる子どもたちでした。高校生はもちろん、中学生、そして、小学校4年生でも学校が変わります。特に気がかりなのは小学校4年生でした。3年生までは学校が近くにあるので、歩いて通っていました。しかし、4年生からは自転車での登校になります。8月の末から2週間、毎日欠かさず練習していましたが、園の外で自転車に乗るのは初めての子も多く、前日も自転車の練習をし、当日の朝を迎えました。走り始めは少し緊張した面持ちでしたが、慣れてくると笑顔を見せる余裕も出来たようで、一安心。皆で仲良く学校に向かいました。

学校に着いた子どもたちはまず、校長先生のお話を聞きます。中学生以上はそれぞれ家に持ち帰る書類もあり、大切な話もあるので、真剣な顔で聴いています。その後は担任の先生のお話を聞き、学校全体の清掃をして帰ってきました。

7時に学校が始まり、9時には終わります。そして午後はいつも通りの補習です。将来のために、毎日8時間も勉強する子どもたちを目の当たりにして、私たち職員も負けていけない、と身を引き締める思いです。



暑い中でも農作業を頑張りました。



食材も真剣に選びます。



最初は戸惑いながら貼り付けていました。



おじいちゃん・おばあちゃん、ありがとう！

夏休み中の子どもたち

夏休みの間は、とにかく「働く・学ぶ・遊ぶ」の3拍子で毎日過ごしてきた子どもたち。毎日6時に起きて、6時半に朝食、食べた後は勉強です。農作業も毎日欠かさず、皆一所懸命取り組んできました。一日一日をしっかりと生きている子どもたち、彼らの将来が本当に楽しみです。

そんな夏休み、午前の時間をどう使おうかということで、月・水・金には農作業、火・木・土には自習と決め、更に月・水・金には職員へのお手伝いをする事に決めました。農作業ではとうもろこしの種を蒔いたり、肥料の作り方を習ったりと、たっぷり時間のある夏休みを利用して、普段ではなかなか出来ないことに取り組みました。自習時間には、子どもたち同士で勉強を教えあう様子が見られ、自ら進んで勉強する姿も見る事が出来ました。お手伝いでは、朝早くに市場に行き、食事の準備も手伝いました。

午後は通常通り補習授業を受け、火・木・土・日には農作業も実施しました。

夏休みの間、毎日「勤勉・勤労・思いやり」の3つの柱を実践してきた子どもたち。本当によく頑張りました。学校が始まって、この気持ちを忘れることなく、勤勉・勤労・思いやりの心で過ごしてほしいです。

日本のおじいちゃん・おばあちゃんへ

9月20日は、日本では敬老の日。子どもたちにもこの素敵な行事を教えよう、ということで、子どもたちの大好きな花であるハイビスカスの貼り絵を作り、日本のおじいちゃん・おばあちゃんに届けました。実は今年の7月に、ワタミの介護のレストヴィラ町田小野路のご入居者様から、日本を代表する花である桜の貼り絵を頂きました。皆大喜びで、毎日いつでも見られるように、園内入ってすぐの壁に飾りました。そのお礼のために、そしておじいちゃん・おばあちゃんにいつまでも元気でいてほしい、という思いで、ハイビスカスの貼り絵を作ることにしました。

最初はひどく戸惑った様子で、これはどうやるの？これでいい？と聞いてきた子どもたち。それもそのはず、カンボジアの学校では、図画・工作等の授業はありません。美術に接する機会があまりにも少ない子どもたちに、少しでも美術に触れてほしい、との思いもありました。

完成した貼り絵を見て、このきれいな貼り絵を早くおじいちゃん・おばあちゃんに見せてあげたい！と言っていた子どもたち。いつも感謝の気持ちを忘れずに、思いやりの心を持った、素敵な大人になってほしい、と思いました。